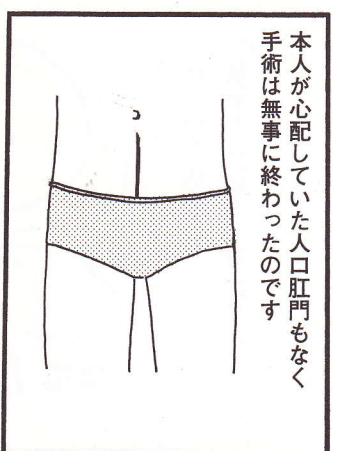
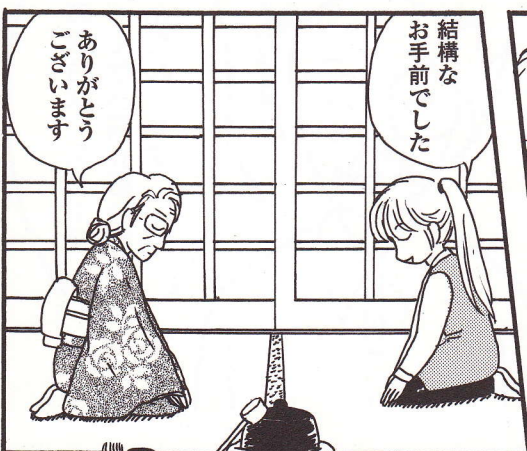
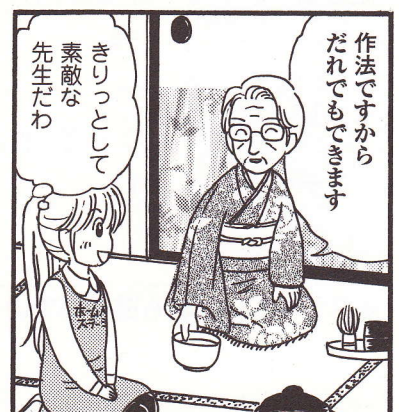
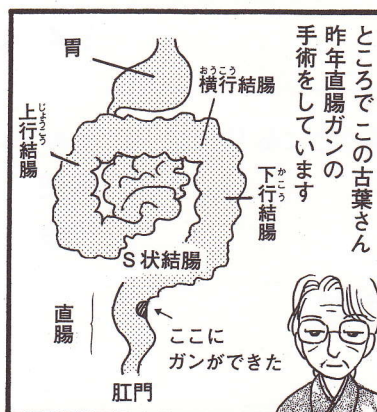
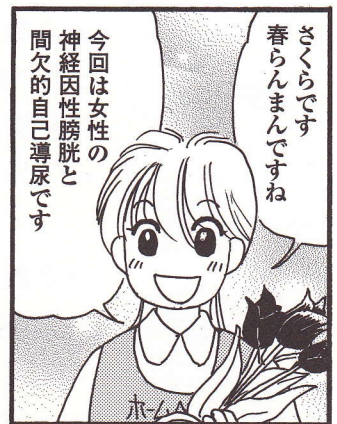
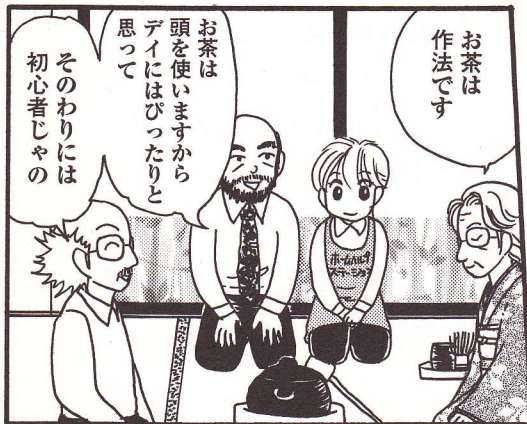


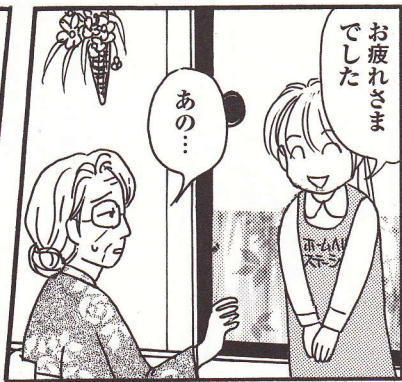
第11話

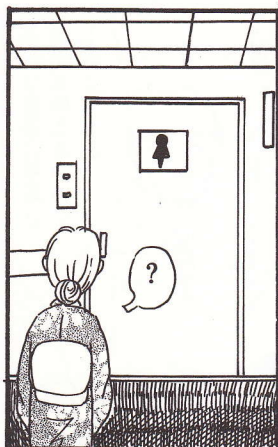
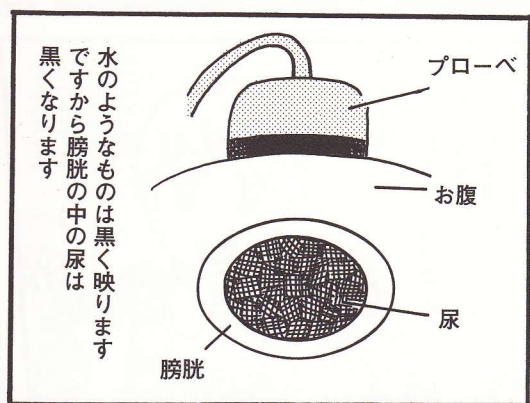
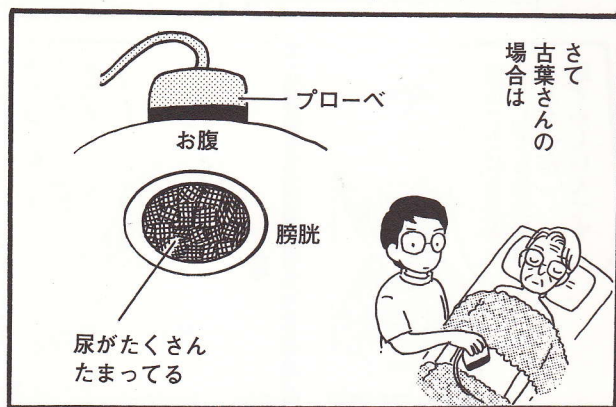
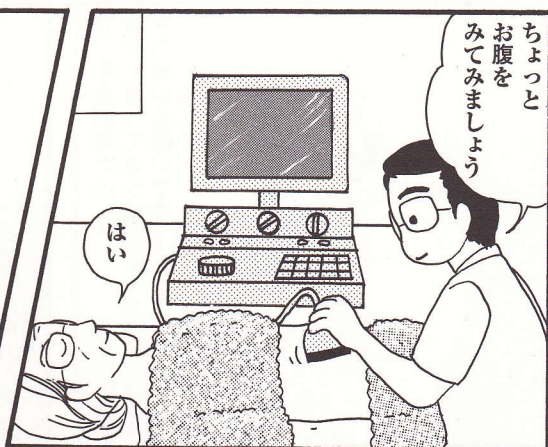
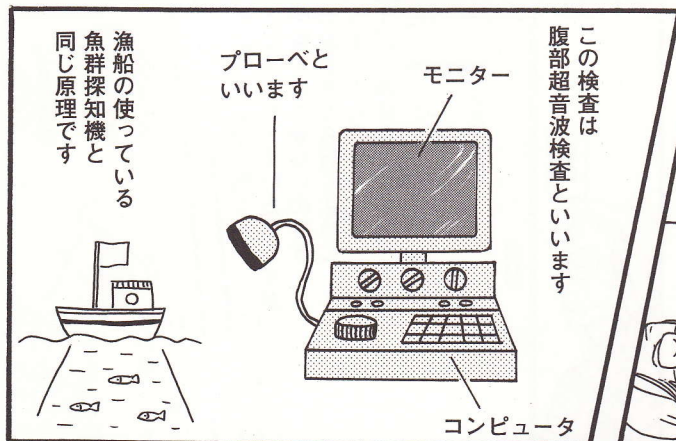
がん手術のあと、尿意が感じられない ～女性の神経因性膀胱と間欠的自己導尿～

直腸がんの手術をして以来、尿意が感じられなく、また尿の勢いも悪くなってしまった古葉さん（70歳・女性）。悩んだ末に、さくらちゃんに相談し、奥井先生のところへ診察にいきますが……。

作・奥井識仁 まんが・天星 玲



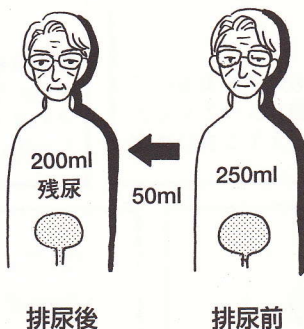




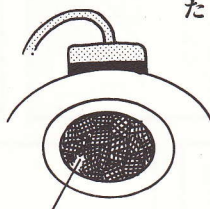
健康な人は残尿はほとんどなく
250 mlでしたら尿意を感じます



つまり古葉さんの場合は
50mlの排尿で 残尿が200ml
ということになります



先程の尿が250 mlでした
今は200 mlの尿が
膀胱の中にあります



まだ尿がたくさん
たまっている

先生
少しですが
尿が出ました



手術時

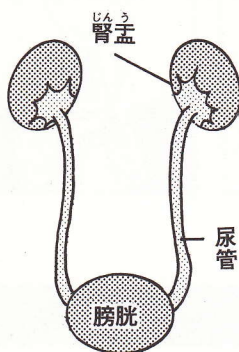
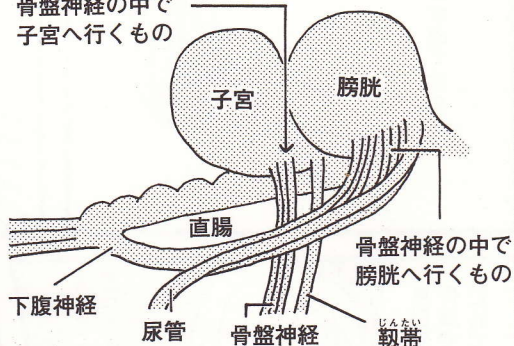


膀胱への神経は直腸の
ところで束になって
とても複雑な構造を
しています
手術で直腸を切るとき
最新の注意をはらいますが
神経が切れてしまったら
手術後のゆ着で
神経が働きにくく
なることがあります
これが神経因性膀胱です

おそらく
原因は手術と
思います



骨盤神経の中で
子宮へ行くもの

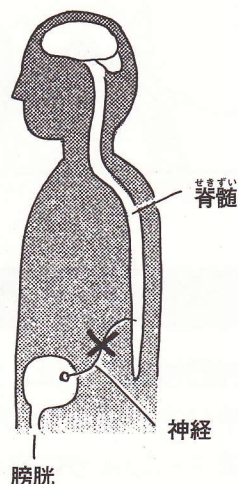


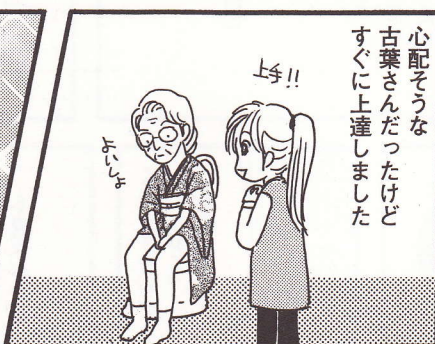
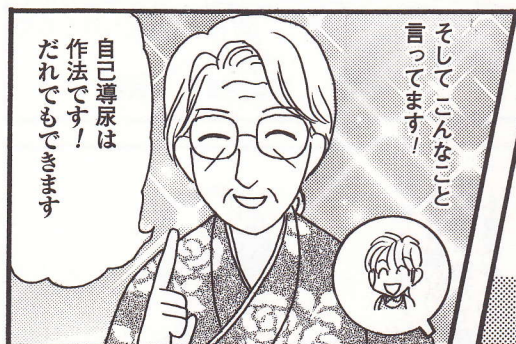
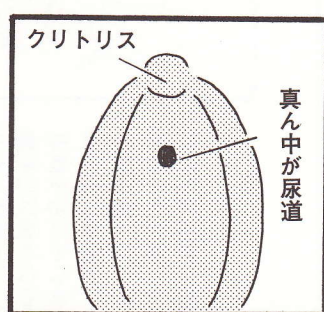
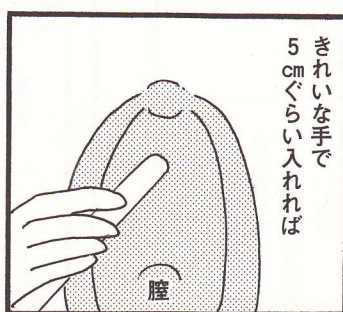
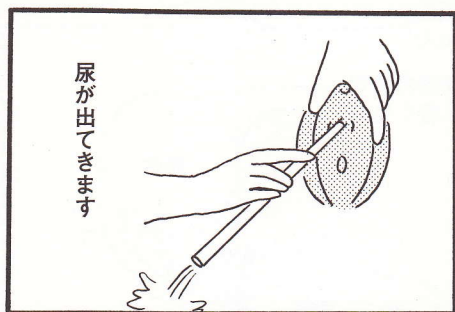
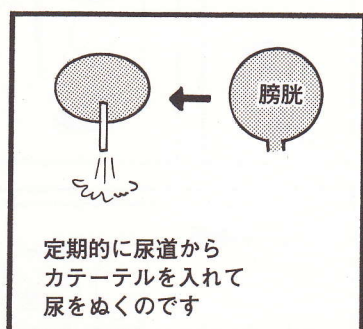
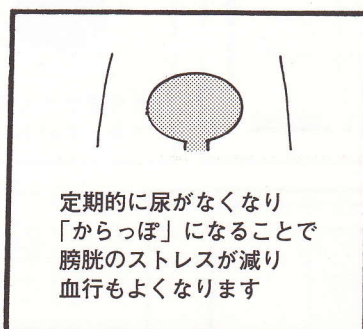
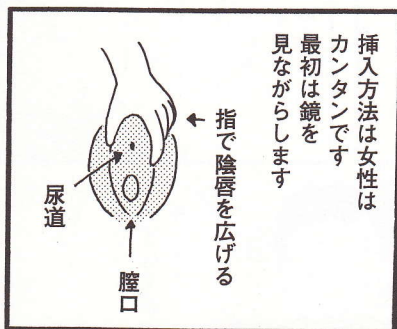
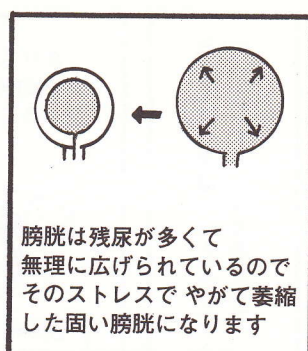
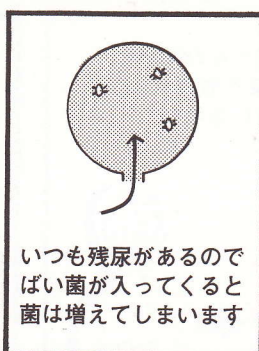
残尿が多いので、尿管や
腎盂にまで尿が逆流した
りして、腎臓の機能が悪
くなります

このまま放って
おくとどう
なるのですか？



膀胱と脊髄をつないでいる神経の
働きが悪いので「尿意が分からない」
「膀胱が縮んで尿を出すことができない」
「残尿ができる」となります





第11話 まとめ

神経因性膀胱には、カテーテルによる間欠的自己導尿が有効です。女性の場合は、特にやり方が簡単なので取り入れることをおすすめします。何度かやっていくうちに、古葉さんのようにきつとうまくなるはずです。

「がん手術のあと、 尿意が感じられない」 女性の神経因性膀胱 と間欠的自己導尿」

手術により神経が障害され、排尿障害が起こるケースは少なくありません。

第9話の糖尿病による神経因性膀胱とは原因が異なる神経因性膀胱のひとつです。

術後の排尿状態の変化を執刀医に相談することができず、腎機能や膀胱の機能が悪化した状態で初めてみつかることがあります。骨盤内の臓器の手術を受けたことのある人は、一度泌尿器科で残尿測定を受けてみてください。

このような神経因性膀胱の原因には、直腸がんの手術、子宮がんの手術がありますが、ほかに脊^{せき}柱^{ちゅう}の手術や放射線照射後のケースもあります。放射線照射というのは、子宮がんに対して骨盤に放射線を当てることです。手術のほかには、子宮がん・膀胱がん・直腸がんが進行して、神経を巻き込んでしまった場合も神経因性膀胱となります。



自己導尿は
作法です！
だれでもできます